

＝市史編さん便り＝ 【44号】 令和5年10月10日(火)発行

*****土佐清水市教育委員会・市史編さん室

「第1回土佐伝統芸能まつり」高知市で開催 土佐清水市から「バラ抜き節踊り」が参加

10月8日(日)11時から、高知県文化遺産総合活用委員会による標記の催しが高知城南側の「丸ノ内緑地」「高知城歴史博物館北ステージ」などで池川神楽(仁淀川町)、久保川お伊勢踊り(津野町)、大利の太刀踊り(高知市)、立山神社獅子舞(香南市)、津野山古式神楽(津野町)等の伝統芸能が披露された。あいにくの雨天で足元も悪いにもかかわらず、たくさんの来場者でにぎわった。

土佐清水市からも土佐清水市中央公民館所属の「土佐清水バラ抜き節保存会」によるバラ抜き節の踊りが「丸ノ内緑地」「高知城歴史博物館北ステージ」の2か所で時間差により披露され、見学者から大きな拍手を受けた。また、地場産品とブースには、中浜地区に所在する(株)たけまさ商店が出店した。

また、土佐清水市役所正門からも高知城歴史博物館がチャーターした送迎バスが出され会場に向けて出発し、バラ抜き節踊りを応援した。高知城歴史博物館の渡辺淳館長の挨拶や3階の展示の入場料が無料になるなど県内の伝統祭りや歴史を堪能する一日となった。ちなみに、送迎バスの世話係を生涯学習課市史編さん室が行い、バラ抜き節保存会の踊りの方々のお世話は中央公民館・岩井拓史館長にお願いした。献身的に動く岩井館長に感謝。





↑バラ抜き節保存会メンバーの踊り(左)、メンバーに寄り添う岩井館長(右)



↑立山神社(香南市)の獅子舞。天狗と獅子のコミカルな掛け合いは来場者を楽しませていた。獅子に頭を食われそうになったので思わずその場から逃げた。でも噛まれた方が本来良かったかも。頭が良くなったかも。失敗(笑)。

高知県内の伝統芸能は本来ならば 900 余り存在していたが、高齢化・過疎化や近年のコロナ禍により、このうち 4 割余りが中断や廃絶に追い込まれている。今回のイベントを「広報とさしみず」で周知したが、思いのほか市民の皆さんの参加者が少なかった。とても残念。危機感を持っている人は多いと思うが…。